

別紙2 データ化項目等について

1. データ化項目

- ・予診票、月報インフルエンザ予防接種実施報告書（またはパンチ送付書）のイメージ図は、別紙1のとおり。
- ・専用端末（外部との接続ができない端末）で入力すること。
- ・下記の事項をデータ化する項目とする。
- ・判別不能な記載等のためblankでパンチした等、パンチした内容に関する連絡事項については、予診票に付箋を貼り、どう処理したかを記入すること。

- ① 宛名番号 8桁（半角数字）
※区分Cの予診票のみ入力すること。区分A④の予診票ではblankとする。
 - ② カナ氏名 15桁（半角カナ）
※区分A④の予診票のみ入力すること。区分Cの予診票ではblankとする。
※氏名間スペース有無、大文字小文字区別は問わないが、全データで統一すること。
 - ③ 生年月日 7桁（半角数字）
※区分A④の予診票のみ入力すること。区分Cの予診票ではblankとする。
※大正「2」、昭和「3」で入力。（例：昭和20年1月1日＝「3200101」）
和暦に○がない場合は、予診票に記載の年齢で判断し入力すること。
西暦で記載されている場合は和暦変換の上、入力すること。
 - ④ 性別 1桁（半角数字）※男「1」、女「2」で入力
※区分A④の予診票のみ入力すること。区分Cの予診票ではblankとする。
 - ⑤ 接種年月日 7桁（半角数字）
※令和＝5で入力。（例：令和5年10月10日＝「5051010」）
西暦で記載されている場合は和暦変換の上、入力すること。
 - ⑥ 費用区分 1桁（半角数字）※今回は「1」固定
 - ⑦ 医療機関コード 6桁（半角数字）
※月報インフルエンザ予防接種実施報告書（またはパンチ送付書）に記載のコードを、各束で固定入力。
 - ⑧ 通し番号 5桁（半角数字）
※受託者が全予診票に通し番号を振り、その番号を入力すること。
接種日時点で満60～65歳未満の者は、添付資料（障害者手帳の写し等）があるためこれには通し番号を振らないよう注意すること。
 - ⑨ 予備項目 206桁（半角カナ）
※ALLblankとする。
- ※①～⑥、⑧は予診票より、⑦は月報インフルエンザ予防接種実施報告書（またはパンチ送付書）より入力。

2. 納品時のファイルについて

- ・固定長 256桁のテキストファイルで作成すること。
- ・文字コードは「Shift_JIS」で作成すること。
- ・ファイル名は「KINF_XXX.txt」とする。
 - ※「XXX」は納品ファイル数に応じて「001」～「999」とする。
ファイル数が1件の場合は「001」とする。